

2019年「第9回定時総会」報告

(一社) ニューガラスフォーラム事務局

NEW GLASS FORUM The 9th General Meeting 2019 Report

2019年6月20日(木)、東京都新宿区百人町の日本ガラス工業センタービルにおいて、一般社団法人ニューガラスフォーラム第9回定時総会が開催されました。今回は、新たな元号である「令和」になってから初めての記念すべき総会でもあります。

総会では、2018年度事業報告案ならびに収支実績案と2019年度事業計画案ならびに収支予算案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。



第9回定時総会

今回の総会は、役員の定期改選期ではありませんでしたが、株式会社ニコンの平岩理事(現、光ガラス株式会社)が退任され、替わって、同社の志水理事が新たに就任されました。

総会終了後には記念講演会が開催され、国立

研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域研究戦略部の濱川聡研究戦略部長から、「産総研 材料・化学領域が取り組むイノベーション戦略」と題した講演がなされました。



ご講演者の濱川様

講演内容につきましては、機関誌”NEW GLASS”第128号(2019年11月1日刊行予定)に、傍聴記が掲載される予定ですが、材料から見たイノベーション戦略について、産総研の取り組みなどを体系的にご紹介頂きました。

講演会終了後には、約50名の参加を頂き、懇親会が行われました。今回は、ご来賓として、経済産業省製造産業局素材産業課から湯本啓市課長を始め3名の方と、同課革新素材室から沼館建室長を始め2名の方にご出席頂きました。

開会に先立ち、鈴木洋ニューガラスフォーラム会長（HOYA 株式会社代表取締役最高経営責任者（CEO））から、“ニューガラスフォーラムは、産・学・官で新しいガラスの可能性を、特に研究開発を通して追求することが使命であり、ニューガラスフォーラムを通して、新しいガラスの展開を考えていきたい”との挨拶がありました。



鈴木ニューガラスフォーラム会長

次に、ご来賓代表として、経済産業省製造産業局素材産業課課長の湯本啓市様から、“不透明な情勢の中でも、技術革新や社会変革の波は緩むことはなく、むしろスピードアップしている状況である。この中でガラスの新しい展開も十分に期待できる。ニューガラスフォーラムは産業界全体のベースを上げる協調領域での活動が価値ある行動になる。ニューガラスフォーラムが有するイノベーションプラットフォームを経済産業省としてもサポートしていきたい。”とのご挨拶がありました。



湯本経済産業省素材産業課課長

その後、古俣武夫ニューガラスフォーラム理事（セントラル硝子株式会社取締役常務執行役員）によるご挨拶と乾杯のご発声があって、歓談となりました。



古俣ニューガラスフォーラム理事

1時間余りの歓談の時間は瞬く間に過ぎ、最後に、ニューガラスフォーラム運営委員長である蜂谷洋一様（HOYA 株式会社昭島工場長）による中締めでお開きとなりました。



蜂谷ニューガラスフォーラム運営委員長

ニューガラスフォーラムは、1985年（昭和60年）に発足し、今年、34年目を迎えます。今年5月1日には、新しい元号が始まったことから、「昭和-平成-令和」の“3時代”にまたがった活動をさせて頂くこととなります。今回の総会にてご承認頂きました事業計画に沿って、引き続き、会員の方への貢献と日本のガラス業界の発展の一助になるような活動を、皆様方のご支援、ご指導を頂きながら、着実に進めて参りたいと思います。